

1. 教材(単元)名 行政の役割と行政改革

2. わらい 民泊が認められるようになった理由について追究することを通して、行政改革のひとつとして行政権の肥大化を見直すだけでなく、経済の活性化という生活向上にもつながっていることについて考えることができる。

3. 本時の展開（ 5 / 9 ）

過程	学習活動	指導・援助
<p>つかむ</p> <p>考えをもつ</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p>	<p>1. 前時の学習を振り返り、学習の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政の仕事が多くなってきたことで、行政権の肥大化が進んでいる。だからこそ行政改革が行われてきた。 最近、確かに民泊という言葉聞くようになった。これも行政改革のひとつの形だということは知らなかった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ、行政改革のひとつとして、民泊が認められるようになったのだろう。</p> </div> <p>2. 予想をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回学習したように、何らかの権限をなくすために行われた。 単に権限をなくすためだけではなく、民泊ができるようになることでメリットがあるに違いない。 <p>3. 資料をもとに追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人などの観光客が、一般的な宿泊施設よりも安く泊まることができるようになる。日本の生活を、より身近に感じることができるようになる。 オーナーの側からすると、空き家などがあれば副収入を得ることができ、多くの人と交流がもてるようになる。 防犯や安全の確保など、運営していく上でのデメリットもあることがわかった。 観光客の誘致や、収入の増加など、経済的な面でプラスになることが多い。「小さな政府」に近づき、経済活動を促していくことになる。 <p>4. 全体で交流を行い、深める。</p> <p>○県内での実施例を踏まえて、自分たちの住む揖斐川町内での実施についての意見を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内では、国体のときにしか実施例がない。日常的に行うのは難しいのではないか。 歴史背景を生かした工夫をしている民泊もある。空き家も多い揖斐川町でも、同じことができると思う。 町内にも宿泊施設があるし、そっちの客が減ってしまうと意味がない。観光客を増やしていくための工夫がなければ、揖斐川町での民泊はうまくいかないのではないかと思う。 <p>5. まとめをする。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px;"> <p>最近、民泊が増えてきているが、これも行政改革の一つの形として行われている。行政改革は、行政のスリム化を図るという行政側の問題だけではなく、経済の活性化を図っていくことができるという面で私たちの生活にも結びついているということが分かった。</p> <p>しかし、どの地域でも民泊が同じように進められているわけではない。県内には実例もあるけれど、揖斐川町で実施しようと思うと難しい面もある。地域の現状や問題も踏まえた上で進めていく必要があることが分かったので、どうすれば上手く進められるかについても、今後地方自治の学習などで考えていきたい。</p> </div>	<p>指導・援助</p> <ul style="list-style-type: none"> 民泊という言葉を紹介しながら、簡単な仕組みについて理解できるようにする。 民泊を行う自治体数の増加を示しながら、行政改革とのつながりを示し、課題意識がもてるようにする。 予想の視点を示すことで、課題に対する予想や見直しをもって追究活動に取り組めるようにする。 配付された資料だけでなく、タブレットで追加配付された資料や地図帳などを目的に応じて活用できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>（研究内容Ⅱ：協働的な学び）</p> <p>それぞれに追究した内容をタブレットにまとめ、それを共有することで、誰がどのような意見をもっているのかが分かるようにして、お互いより積極的に交流活動ができるようにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>（研究内容Ⅲ：個別最適な学び）</p> <p>県内の状況や揖斐川町の状況が把握できる資料をタブレットで配付したり各自で調べたりする時間を確保する。追究活動がなかなか進まない生徒には、着目すると良い資料やポイントを個別に示しながら支援する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>（研究内容Ⅰ：単元指導計画の工夫）</p> <p>単元を貫く課題や毎時間のまとめを明記した「振り返りシート」にまとめを記述することで、単位時間ごとのつながりを考えながら、生徒が自ら課題を解決できるようにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>民泊が認められるようになった背景について行政改革の一環として理解すると共に、実際に進めていくためには地域の実態を踏まえることが大切であると考えられることができる。（思・判・表）</p> </div>

単元構想図

【単元のねらい】

国会・内閣・裁判所に関する学習を中核として、民主政治には国民の権利や自由を守り、国民の意見を反映させる仕組みがあることを理解すると共に、民主政治を推進するために国民ひいては自分自身が主体的に政治に参画していくと意欲をもって行動することができる。

単元を貫く課題：民主政治の実現に向けて、自分たちはどう関わっていくべきだろう。

単元導入時の意識

これまでの学習から、民主政治は国民全体のために政治を行っているということ、選挙等で国民が関わっていることが分かった。自分たちも関わっていくべきだと分かったので、そのためにもより政治や仕組みについて理解を深めていかなければならない。

第1時 国会の地位と仕組み

- ①課題：なぜ、国会において衆議院の優越が認められているのか。
②活動：国会において衆議院の優越が認められている理由について、資料から追究し、理解を深める。

③生徒の意識

国会では国民の生活に関わる話し合いが行われており、より国民の意見が反映されるような仕組みになっている。

第2時 法律や予算ができるまで・行政を監視する国会

- ①課題：国会は、どんな働きをしているのだろう。
②活動：国会に関するニュースの資料等を通して、国会が行っている仕事や役割がどんなものであるのかを理解する。

③生徒の意識

国会では、物事の決定が委員会や公聴会などで慎重に審議され、決定していく。今後はニュースにも関心をもっていきたい。

第3時 行政の仕組みと内閣

- ①課題：内閣には、どのような仕事や責任があるのだろう。
②活動：内閣に関する資料・ニュースを通して、内閣の仕組みと仕事にはどんなものがあるのかを理解する。

③生徒の意識

内閣は、法律や予算に則って政治を行っている。そして、国会と内閣は権力の行きすぎを抑制し合い、均衡を保っている。

第4時 行政の役割と行政改革①

- ①課題：内閣の果たす役割は、どのように変化しているだろう。
②活動：大きな政府と小さな政府の比較を通して、行政の役割を理解すると共に規制緩和の意義について考える。

③生徒の意識

行政は「全体の奉仕者」として仕事を行っているが、役割が広がり過ぎると問題がある。だから行政改革が行われている。

第5時（本時） 行政の役割と行政改革②

- ①課題：なぜ、規制緩和によって民泊が認められたのだろう。
②活動：民泊に関する資料の追究を通して、行政改革が行政の肥大化を解消するだけではなく、経済の活性化につながることを理解し、自分たちの生活との繋がりについて考える。

③生徒の意識

民泊は行政改革の一つだが、役割の広がりを防ぐだけではなく地域経済の活性化にもつながっている。身近な地域ではどんな変化があるのかも考えてみたい。

第6時 裁判所の仕組みと働き

- ①課題：生活において、裁判はどんな役割を果たしているだろう。
②活動：裁判に関わる資料を通して、裁判の仕組みを理解すると共にその意義を理解する。

③生徒の意識

裁判は、国民の権利を守り安心した社会にするために大切なもの。だからこそ、公正中立に行われるようになっている。

第7時 裁判の種類と人権

- ①課題：人権を守るために裁判にはどんな工夫がされているだろう。
②活動：裁判に関する手続きなどの資料を通して、人権を守って公正に裁判が行われる為の工夫について考える。

③生徒の意識

裁判は手続きを踏んだ上で裁判官・弁護士・検察官などが関わって進めることでえん罪を防ぎ、国民を大切にしている。

第8時 裁判員制度と司法制度改革

- ①課題：なぜ、裁判員制度が行われるようになったのだろう。
②活動：裁判員制度の仕組みや実施の経緯などの追究を通して、裁判員制度の意義について理解する。

③生徒の意識

裁判員制度は、裁判を通して国民主権を実現するために行われている。国民の感覚を生かして司法への理解を深めたい。

第9時 三権の抑制と均衡

- ①課題：三権は、お互いどのように関わり合っているだろう。
②活動：三権分立の仕組みを理解すると共に、政治参加に向けて自分ができることや大切にしたいことを考える。

③生徒の意識

三権分立により、権力の集中を防いでいる。そして、三権すべてに対して国民は関わる事ができる仕組みになっている。もっと色々なことを学び関わっていきたい。

単元出口の意識

三権分立の仕組みにより、私たちの自由と権利が保障されている。また、裁判員制度など色々なところで国民主権を守り、国民が関わる事ができる制度が採られている。だからこそ、この機会を大切にしていかなければならないし、積極的に理解し自分から関わっていく姿勢を大切にしていきたい。